

フォトレポート

6回を迎えた 「普段着のコミチャン制作」 情報交換会



CCNCの市民応援団と富山・南砺市「じょうはな四葉会」メンバーも参加してワイワイと大いに盛り上がった第6回の交流会。
普段着コミチャンの参加は23名とCCNCメンバー

愛知・常滑の知多半島ケーブルネットワーク (CCNC) で開催

「こんなケーブル局があったんだ！」 参加者が感じ入った 「CCNCの地元“根ざし力”」

「麦や菜種は二年で刈るが……浪の屋島を遠くのがれて来て……」と哀愁を帯びた唄にあわせて、黒の紋付袴、白たすき、白足袋に一尺五寸の袖刀を差した男衆と、白たすきの女衆が笠を持って踊る麦屋節。富山県南砺市の城端で活動する「じょうはな四葉会」の10名あまりの方が大交流会で踊った。四葉会の皆さんが訪ねて来てくれた背景に、CCNCとの交流があったからだ。8月27日(木)～28日(金)の1泊2日で開催した第6回「普段着のコミチャン制作」情報交換会をフォトレポートする。この会の味わいと、CCNCの地元“根ざし力”を少しでも感じてもらいたい。

- 文：吉井 勇・本誌編集長
- 写真：古山智恵・本誌編集部

南砺市の城端から参加した「じょうはな四葉会」の麦屋節の踊り。「なぜ脇差のような刀を差して踊るの」と聞くと、「平家の落人たちの武士としての誇りだからでしょう」とのこと。

